

神奈川 助けてほしいことを記入 育成会が防災ブック



関東・甲信越 静

「非常時に助けてほしいことが書いてあります」――。神奈川県手をつなぐ育成会は「防災あんしんブック（じぶんのこと編）」を発行した。写真。災害が起きたとき、知的障害や発達障害のある人が困らないよう、その時にそばで支える人に伝えたい情報をあらかじめ記入できるようにした。冊子はA5判で24

ページ。本人の氏名など自己紹介、服用する薬、障害特性（例「特定の音が苦手」）、必要な排せつ支援（例「スポンの着脱」）、食事支援（例「使用する食器の種類」）のほか、体調を描いたイラストを指で差して伝えるページも設けた。

こうした情報のうち、最小限のものを収めた圧縮版も作成した。1人で外出できる人が手帳などにはさんのひらサイズに折りたためる「いつでもあんしんカード」だ。いずれも同会のホームページから無料でダウンロードできる。同会は冊子について「家族で話し合い、障害のある本人と一緒に記入してほしい。完成した

ら避難リュックにお守り代わりに入れて」と呼び掛けている。

（福田敏克）